



市民セナリヨ 2018 第 7 回
川添猛神父一周忌（さばと忌）特別記念講演

「みみずの子の思い」

◆日時：2018 年 11 月 24 日（土）14:00 開演～15:30 終演
◆会場：浦上キリシタン資料館 コミュニティースペース



ひとりの神父が紡ぎ出した十七文字の世界がある。おかしみの中にも、浮き彫りにされた真実が、そっと語りかけてくる。長崎や天草の景色、浦上の折々、そぎ落とされたことばが、心にとどく。そんな俳人神父が逝って、この 11 月 17 日で一年が経つ。俳号岳石、彼の残したことばに親しむ一日を「さばと忌」として未来につなげて行きたいと思う。



川添神父(左)と古巢神父
帰天 17 日前に(2017 年 11 月 1 日)

みみずの子いのちのほかになにもなし
川添岳石の最初の句集「みみずの子」より
パン一つ死者に貰いて原爆忌
ああ暑し被爆壺の口ゆがむ
石亀に恋する神父去年今年
汗かひて洗ひて干して司教館
道消えて家朽ちて鳥やぶ椿

川添岳石の最後の句集「やぶ椿」より

◆講師：古巢馨(長崎教区司祭)

ふるす・かおる 1954 年 長崎県五島市生まれ。カトリック長崎教区司祭。1981 年、初来日したヨハネ・パウロ二世教皇により司祭叙階。現在、長崎大司教区法務代理、長崎純心大学教授、日本カトリック神学院講師、司教協議会列聖推進委員会委員、長崎刑務所教誨師。著書に「まるちれす子どものための教会史・長崎」（長崎大司教区）、「風と雲を友として」（昭英出版）、「恵みの風に帆をはって」、「ガリラヤへ」「ユスト高山右近 いま、降りていく人へ」（共にドン・ボスコ社）などがある。

◆定員：40 名 ◆参加料：500 円

◆申込：浦上キリシタン資料館宛に電話・ファックス・メールでお申し込みください。

◆主催：NW アジェンダNOVAながさき (公財) 県民ボランティア振興基金支援事業

◆音楽コーナー：松林静風(尺八・二胡・横笛)



まつばやし・せいふう
75 歳、尺八吹禅家、長崎市出身、熊本大学工学部卒
尺八師範、平成元年、古典尺八竹風会を設立、平成 9 年より長崎胡弓愛好会を設立、日中の民間文化交流、町起こし活動に努めている。
修学旅行生胡弓体験学習、老人ホーム訪問、各町主催の高齢者大学、成人講座など、活動中。

<http://www1.cncm.ne.jp/~seifu>

浦上キリシタン資料館

開館時間：10:00-17:00 休館日：月曜日（但し月曜が祭日の時はその翌日）

〒852-8116 長崎市平和町 11-19

Tel&Fax 095-807-5646 E-mail: urakamicm@mx1.cncm.ne.jp

■長崎電鉄「平和公園」停留所徒歩 5 分 ■県営バス「浦上天主堂前」徒歩 1 分